

UNITE
FOR
GOOD
よいこと
のために
手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリーのメッセージ

よいことのために手を取りあおう

UNITE FOR GOOD

写真提供: 岡家菊二会員

Rotary  倉敷南ロータリークラブ
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 3008 例会 R. Song 「それでこそロータリー」 天候：晴れ No.3008/2025. 7. 25

Guest なし Visitor 岡本研作第7グループガバナー補佐（倉敷）、

倉敷 RC：小笠原敬三会長、目黒隆三郎幹事

出席 会員数 59 名（うち出席規定免除者 15 名@2 名①13 名）

7/25 の出席率 78.85%（出席者 41 名、内①8 名）

欠席 馬場、松隈、中川、沼本、奥山、滝川、渡辺(英)、渡辺(昇)、渡辺(清)、山本(勲)、横溝、各会員（11 名）

● 浅見会長

【倉敷 RC 小笠原会長より】倉敷南 RC は 65 周年に向けて、頑張り活性化させようという意気込みを知りました。今後とも皆さまのご活躍を願っております。

【倉敷 RC 目黒幹事より】倉敷南 RC には関係ある方多く大変お世話になってます。

- ・(会長の時間) 例会前に岡本第7グループガバナー補佐をお迎えしてクラブアッセンブリーを開催。7/27 地区ローターアクト統一委員会が開催され三宅繁地区委員が出席されます。今週、私と桐野 65 周年実行委員長、三宅会員で倉敷市立水島図書館を訪問。今年は皆さまがお持ちの本を寄贈して欲しく思います。ジャンルは問わないので例会に持ってきていただき、来週から専用の箱に入れてください。
- ・参院選挙が終わり、自公の連立政権が過半数割れし政治の不安定さが増しそう。日本人ファーストを掲げた参政党躍進を海外メディアが伝えているが、日本は最も安定した民主主義国家の一つであり海外から驚きを持たれた様。政治体制よりも分断が進みつつある人の心が問題。良寛和尚が『いかなるが苦しきことと問うならば、人をへだつる心と答えよ』と説かれた。へだつる心が無くなれば平和な世の中になるかもしれないが、現実的ではない。先日メルケル首相が TV インタビューで、分断の社会において重要なことは何かと聞かれ『妥協です。それをなくしてコミュニケーションは成り立たない』と答えた。腹落ちし妥協ファーストなのかなあと考えた。

● 幹事報告（横道幹事）：クラブ、地区支援リソース集の案内。他来信 1 件

- スマイル報告（土井 S.A.A）※紙面の都合上、内容を一部割愛しております。
 - ・倉敷ロータリークラブより、スマイルをいただきました。
 - ・浅見会長、和田(務)副会長、田島副会長、土井 SAA、横道幹事、石田プログラム委員長、野口会員：①第 7 グループガバナー補佐岡本様のご来訪を歓迎します。
 - ②倉敷 RC の小笠原会長様、目黒幹事様のご来訪を歓迎いたします。
 - ・桐野、高田、永井、渡辺(祐)、岡、齋藤、山本(由)、瀧岡、各会員；岡本ガバナー補佐様のご来訪を歓迎いたします。卓話を楽しみにしています。
 - ・畠田(章)会員：妻の誕生日にきれいな花を有難うございました。
 - ・柳沢会員：JFE 西日本野球部の都市対抗野球試合日程が決まりました。8/31 ホンダ鈴鹿と 1 回戦で当たります。まず 1 勝を目指し頑張ります。応援をよろしく。
- プログラム卓話「酒津焼について」 第 7 グループガバナー補佐 岡本研作 様
 - ・ 3 点お願いがあります。①10/5 地区大会参加のご協力 ②来年 3/22 アイビススクエアで行う IM への参加 ③マイロータリーへの登録を是非ともお願いします。
 - ・S32 年 3 月生まれ。みどり幼稚園で野口さんとご一緒した。名古屋工業大学研究所に進み、その後帰倉、青年会議所入会し RC との縁に繋がる。
 - ・明治 2 年初代岡本末吉が、阿知神社の西参道辺りに「阿知窯」を築く。明治 9 年高梁川西岸にある兜山山麓に良質な粘土が取れることを聞き、酒津に「加武登窯」を築いた。明治 13 年「西山窯」を築き日用食器を作りだした。今の窯は「西山窯」のレンガを使って作ったと聞いている。「西山窯」は大きな窯で西日本随一と言われ、職人も多く販売ルートがあった。明治 26 年に「貿易窯」を作ったが 3 年で閉じる。その後明治 30 年に 2 代目嘉蔵が窯を継ぐ事になる。
 - ・大正 9 年嘉蔵の長男賢二が継ぐ。この時代、鉄道網の発達と高梁川の大改修工事で窯が中州に孤立。輸送困難で瀬戸物や有田に販路を奪われ、酒津焼が衰退。
 - ・昭和 5 年、酒津焼の復興を目指し近藤悠三先生の指導を受ける。その後も浜田庄司先生、河井寛次郎先生、バーナード・リーチ先生、宮本憲吉先生に指導を受け酒津焼は新たな民芸陶としての息吹を吹き込まれた。
 - ・昭和 45 年、父 章が 5 代目として窯を継いだ。平成 25 年 6 代目として私が継ぎ、今は私と弟とで作っている。酒津焼とは地域ではなく当窯の名称。
 - ・昭和 45 年 100 周年記念展以降、周年記念行事を行う。平成 4 年倉敷市民憲章制定 20 周年「融和」製作。令和元年開窯 150 年記念で岡山県庁知事室等に 150 点寄贈。
 - ・地域の皆様に「もの作りの楽しさ」を伝えたいと考え、小学生の卒業制作、陶芸体験などの活動をしている。全陶展の審査員もしている。「焼き物は壊さない限りその形を留め、何代も伝えていく事ができる。どうか大切に扱って下さい」。

例会プログラム予定：8月1日(金)卓話①「クラブ協議会(決算報告)」会計 下山 忠則 会員、
 ②「セカンドイニシエーションスピーチ」廣本 孝良 会員 / 8月8日(金)卓話 地区ガバナー公式訪問例会 坂口元昭第 2690 地区ガバナー (米子南 RC)